



















☉ 018

0044638

330-0064

048 (862) 0355 FAX 048 (866) 0425

# 4/2 2023

2023 4 2 14:30 19:20 14:00

3A (113-0033 4-15-14)

- 4b 5
- 6 5
- A2 2
- JR 15

<https://youtube.com/watch?v=A4kAu8FIi6c%3Ffeature%3Doembed%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%96%E4%B8%AD%E7%B6%99%E3%81%AF%E3%81%93%E3%81%A1%E3%82%89%E3%81%8B%E3%82%89%E8%A6%96%E8%81%B4%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%99>

1. 2023
2. 14:30 15:20
3. 15:25 17:20

4. [17:20-17:40](#)
5. [17:40-19:10](#) 3
6.
7.
8.

## **2023**

(       )   (       )

## **14:30** **15:20**

## **15:25** **17:20**

[17:20-17:40](#) )

[17:20-17:40](#)

[17:20-17:40](#)

[17:20-17:40](#)

[17:20-17:40](#)

17:20-17:40

17:40-19:10

- NPO
- 
- TENOHASI
- 
- 

●

594755  
00170-5-594755  
WEB

<https://www.congrant.com/project/antipovertynetwork/2902>

●

<>169-00512-4-7DEW

090-7835-4477050-5526-301012:00-18:00

[info@hanhinkonnetwork.org](mailto:info@hanhinkonnetwork.org)



ANTI-POVERTY CAMPAIGN

# 反貧困ネットワーク全国集会 2023

2023年4月2日(日)14:30(開場 14:00) ~ 19:20

文京区民センター 3A 会議室 参加費無料 (会場に直接お越しください)

## 武器よりくらしを！ 排除より連帯を！

主催：一般社団法人反貧困ネットワーク

住所：〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 2-4-7 東京DEW

電話：090-7835-4477/050-5526-3010

【月・水・金：12:00~18:00】

メールアドレス：[info@hanhinkonnetwork.org](mailto:info@hanhinkonnetwork.org)

ホームページ：<https://hanhinkonnetwork.org/>

●YouTubeにてリアルタイム配信、録画配信を行います  
配信は以下のURLから視聴ができます

<https://youtube.com/live/A4kAu8Fli6c?feature=share>

●集会開催費用カンパお願いいたします。

口座振込：ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座 594755

郵便振替：00170-5-594755

シャ) ハンピンコンネットワーク

※依頼人名または備考欄に「シュウカイ」と記入ください

反貧困ネットワーク  
ホームページ



当日 YouTube 配信



会場案内地図



# 反貧困ネットワーク全国集会 2023 集会プログラム

## 2023年4月2日(日) 14:30(開場 14:00) ~ 19:20

オンライン中継あり

司会：猪股 正（反貧困ネットワーク理事） 大塚 恵美子（反貧困ネットワーク理事）  
主催者挨拶：宇都宮 健児（反貧困ネットワーク理事長）

### ●セッション1 ▶14:30~15:20

#### 反貧困ネットワークからの報告

##### ①反貧困ネットワーク・新型コロナ災害緊急アクション1年間の活動報告

瀬戸 大作（反貧困ネットワーク事務局長）

##### ②反貧困ネットワーク外国人支援の現状報告

原 文次郎（反貧困ネットワーク外国人支援担当理事）

### ●セッション2 ▶15:25~17:20

#### 課題別報告

##### ①入管法反対問題

指宿 昭一弁護士（外国人労働者弁護団）

##### ②仮放免者からの発言

##### ③女性と子供の貧困問題

寺内 順子さん（シンママ大阪応援団）

##### ④非正規労働

伊藤 みどりさん（介護ヘルパー国賠訴訟原告）

##### ⑤インボイス制度

小泉 なつみさん（インボイス制度を考えるフリーランスの会）

##### ⑥最低賃金

河添 誠さん（最低賃金大幅引き上げキャンペーン委員会）

### ☆休憩・ミニライブ ▶17:20~17:40

移民難民雑技団よりアフリカンミュージックなどの演奏

### ●セッション3 ▶17:40~19:10

#### 【対論】貧困格差、分断と排除に抗する若者世代の叛乱

進行：瀬戸 大作（反貧困ネットワーク事務局長）

登壇者：荒井 佑介さん（NPO 法人サンカクシャ代表理事）

阿部 華奈絵さん（三鷹で焚き火をしよう）

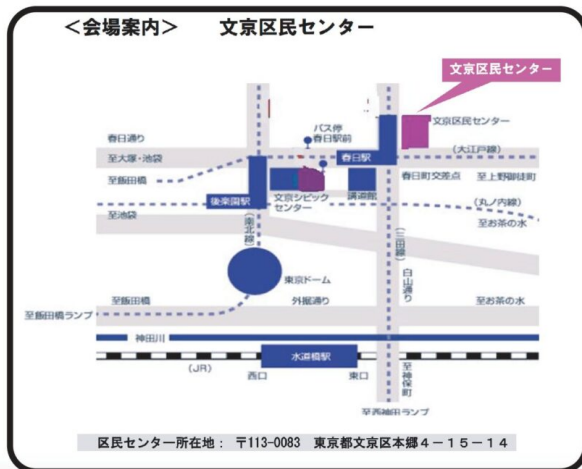
幸田 良佑さん（TENOHASI わかちあい練馬）

加藤 美和さん（仮放免高校生奨学金プロジェクト・チューター 大学生）

ミラクルさん（ガーナ国籍日本生まれの留学生 大学生）

### ●終会宣言 ▶19:20 終了予定

藤井 秀樹（反貧困ネットワーク理事）



#### アクセス

都営三田線・大江戸線「春日駅 A2 出口」徒歩 2 分

東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅 4b 出口」徒歩 5 分

東京メトロ南北線「後楽園駅 6 番出口」徒歩 5 分

JR 水道橋駅東口徒歩 15 分

都バス（都 02・都 02 乙・上 69・上 60）春日駅徒歩 2 分

#### 会場案内地図



区民センター所在地：〒113-0083 東京都文京区本郷4-15-14

---

# 3月13日

この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。

---

## 3月13日 (2023)

2022年3月13日は、2023年3月7日（水）から8日（木）にかけての期間です。

2023年3月9日は、[4月PTSD](#)に関する日です。

- この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。
- 桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。
- 家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。
- この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。
- 桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。
- 家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。
- この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。
- 桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。
- 家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。
- この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。
- 桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。
- 家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。
- この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。
- 桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。
- 家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。
- この日は、春の訪れを感じ、新しい一年の始まりを祝う日です。
- 桜が咲き始め、暖かい日差しが気持ちよく、心も軽やかになります。
- 家族や友人と過ごす時間は、とても幸せなものです。

## 3月13日 (2023)

2023年3月7日

SSN  
WIMA

12月2023年3月11日2022

1

12





2022

3

No. Web No. Web 3 2022 “ ” 2011 1 “ ” 1 “ ” No. 7

No. 8 10 70 33.9 60 25.6 No. 8 56.4 41.1 No. 8 No. 9 22.1 19.8 17.1 13.0 10.5 10.5 No. 9 30.8 19.8 16.3 21.9 5.8

2011 No. 10 56.2 11.4 4.8 8.3 9.9 5.2

No. 10 38.8 32.8 8.3 7.6 6.2 4.1

-PTSD 37.0

11

Post-Traumatic Stress Disorder (PTSD) No. 12

PTSD Impact of Event Scale-Revised IES-R PTSD 25 37.0 No.13

K6 6 K6 13 17.2 No.14 17 7.8

COVID-19

60 No.228

40 No.70

70 No.489

40 No.476

70 No.329

60 No.278

PTSD 4

IES-R 25 2012 67.3 2013 59.6 2014 57.7 2015 41.0 2016 37.7 2017 46.8 2020 41.1 2022 37.0 2015 4 PTSD No.13

K6 2016 13 2016 20.8 2017 21.7 2018 21.2 2020 18.1 2022 17.2 No.14

PTSD



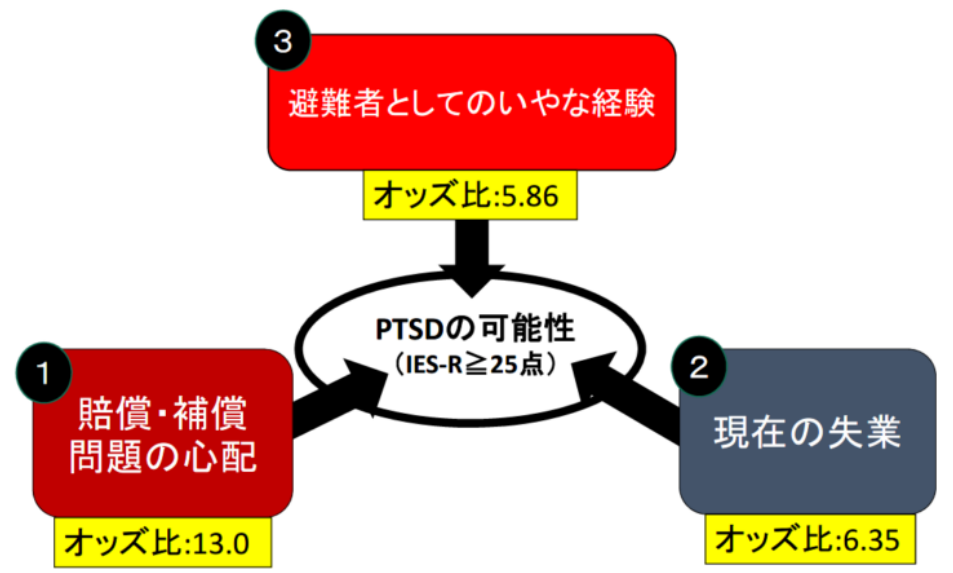
10. PTSDのリスクを高める要因は「賠償・補償問題の心配」 $OR: 2.45$   $p < 0.001$  11. PTSDのリスクを高める要因は「現在の失業」 $OR: 4.06$   $p < 0.001$  12. PTSDのリスクを高める要因は「避難者としてのいやな経験」 $OR: 2.66$   $p < 0.01$  13. PTSDのリスクを高める要因は「賠償・補償問題の心配」 $OR: 2.65$   $p < 0.001$

**PTSD**

PTSDのリスクを高める要因は(1)賠償・補償問題の心配 ( $OR: 13.0$   $p < 0.05$ ) (2)現在の失業 ( $OR: 6.35$   $p < 0.05$ ) (3)避難者としてのいやな経験 ( $OR: 5.86$   $p < 0.05$ ) PTSDのリスクを高める要因は(No.18)

(1)賠償・補償問題の心配は13.0倍、PTSDのリスクを高める要因は(2)現在の失業は6.35倍、(3)避難者としてのいやな経験は5.86倍、PTSDのリスクを高める要因は(1)賠償・補償問題の心配と(2)現在の失業の組み合わせは  $13.0 \times 6.35 = 82.55$ 、(1)賠償・補償問題の心配と(3)避難者としてのいやな経験の組み合わせは  $13.0 \times 5.86 = 483.74$

2. アンケート調査結果 ⑥: PTSDストレスに対する3大リスク要因 No.18



カイニ乗検定で「PTSDの可能性」に有意に影響していた13項目(付録図表No.12-14)のうち、どの因子が強く影響しているのかを探るために、多重ロジスティック回帰分析をおこなった結果

調査期間は2020年6月

○  
○  
○

○

○

○ 2022  
○ 2023

○ 2018 5 ○ 65  
○ 10 ○ 7  
○

○ No. 20 ○ 2019 12 ○ 2020 3  
○ 46.1 ○ 52.4  
○ 11 ○ 5  
○ 63.6 ○ PTSD  
○ 4  
○ K6 ○ 17 ○ 1

○

○  
○-○-○ No. 433

○ 4-○-○  
○ 70 No. 450

○  
○ 15  
○  
○ 70 No. 213

○ SSN  
○  
○

















2015 600 2016

IDPs

10 No. 360

100 75 60 No. 157

( ) 50 No. 433

2022 12 20 5 1 700 1 250 1 50

2020 57.5 2022 47.7 No. 34 56.8 46.7 40.1 30.6 21.3 21.1 14.0 11.4 11.8 No. 35



20 UCLA University of California, Los Angeles Loneliness Scale 1978 Russell 1996 3 2012 20 1 2 3 4 4 20 80 28 44 2012 47.13

A B 65 1,000 42.2 2012 A 50 326 38.47±9.67 2013 NP0 81.7 108 34.3 2021

65 313 38.8 41.1 45.1 43.2 48.8 2016

47.13

No. 39 2020 14.9 23.0 2022 15.1 23.8 4

2020 13.7 25.3 4 5.6 17.2 2

2022 2020 No. 40 6.6 30.4 No. 40 8.1 31.0 4

UCLA 48.8

...No. 41...  
...33.7...  
...PTSD...2.45...

...

...

...

...SSN...  
...1...  
...2005...2...3...1...

...2012...  
...9...227...2...  
...3...2021...7...2025...2021...3...  
...17...199...70...4...7...  
...9...4...8...2...10...11...5...3...  
...2025...2...20...30...

...2022...  
...UCLA...  
...NPO...  
...8...







5.8 No.46 97 11  
18.6 2 12.4 1 9.3 3 9.3  
No.47 41.2  
38.1 26.8 20.6 18.6  
18.6 No.48

63.7 6.6 7.4 5.6  
16.8 No.49 14.0 22.4  
2.66 PTSD  
No.17

No.50 2020  
6.6 2022 9.5 2020 26.3 2022 29.7  
3 4  
PTSD

30 No.494

49  
6 4  
70 No.241

70 No.446

50 No.68web

3.11 80  
No.223





$r=0.285$   $p<0.001$   $r=0.236$   $p<0.001$   $r=0.201$   $p<0.001$   $r=0.221$   $p<0.001$   $r=0.248$   $p<0.001$   $r=0.232$   $p<0.001$

PTSD

50 No. 495

60 No. 214

70 No. 329

60 No. 88web

50 No. 81web

50 No. 87web

2020 61.9 2022 59.9 No. 55 2020 35 2022 68.0 46.3 2020 15 2022 25.2 No. 55

2 1 3



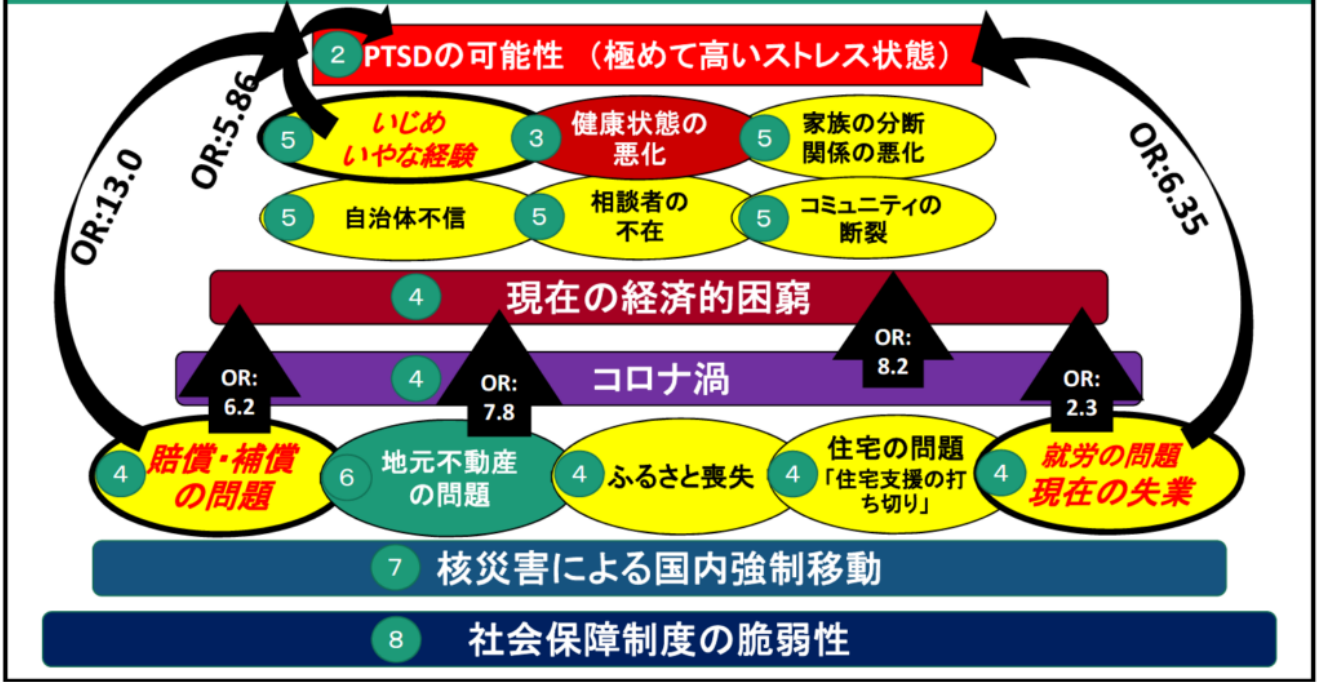












IDPs

2018

United Nations Human Rights Council 2018 3 37 4

161.214 161.215 161.216 1mSv 161.217 4

2018 2015 8 25 4 2015 2011 2022

161.214

161.216 Sv 20 Sv 1 Sv No. 62 0 1 Sv 6 20 Sv 6.8 0 1 Sv

15

14

161.215 IDPs 161.215 18

17 30 6



1990 1990  
1990 1990  
1990 1990

1990 1990

1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990

1990 1990  
1990 1990  
1990 1990

1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
PTSD 3  
1

1990 1990

1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990  
1990 1990

1990 1990  
1990 1990  
1990 1990

2008 2008  
2011 2011 3  
2011 2011  
2011 2011  
2011 2011  
2011 2011

2020 53.4  
13.9 67.3 2022 44.0 13.4 57.4  
2023 2 10

- 28(2) pp.67-76 2019
- 3408 2021
- UCLA 3 15(1) 25-32 2012
- NP0 Human Welfare 13(1) 81-95 2021
- 19(1) 24-30 2016
- 35(1) 29-28 2013
- 2499 138-140 2022

SSN/WIMA

2012

- 835 51-60 2012.
- 60(8) 9-16 2013.
- Tsujiuchi T, Yamaguchi M, Masuda K, Tsuchida M, Inomata



T, Kumano H, Kikuchi Y, Augusterfer EF, Mollica RF: High prevalence of post-traumatic stress symptoms in relation to social factors in affected population one year after the Fukushima nuclear disaster. PLoS ONE 11(3): e0151807. doi:10.1371/journal.pone.0151807 2016. 2016.01.19

#### 2012–2013 論文

- 福島県内被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』56(8) 819-832 2016. 2016.02.25
- 2013 論文
- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』56(7) 723-736 2016. 2016.02.25

#### 2012 2014 論文

- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』92 pp244-256 2015.
- 2014 論文
- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』852 103-114 2014.
- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』57(10) 1013-1019 2017.

#### 2015 論文

- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』86(3) 2016 3 pp246-251 2016.
- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』pp27-64 2016.
- 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者, 被災者. 『災害と心のケア』34(1) 21-29 2017. 2017.01.19

#### 2012 2015 論文

- 被災者に対する心理的ケアの現状と課題に関する調査報告書。『災害と心のケア』22(4) 8-13 2017.



